

# 地域のがっこう（まちのがっこう）

特定非営利活動法人なごみ（関係課：地域担当課・地域学習推進課）

事業費 237,589 円

助成額 172,000 円

## ●当初の課題・事業目的

地域では、多様化する課題と住民ニーズを肌で感じながらも、地域活動者の高齢化と固定化の問題から、行動・活動として取り組めない現状があります。本事業を行う最終目標は、地域活動の新たな担い手づくりと地域力の活性化ですが、まず自分たちが暮らすまちに関心を持ち、住民同士がつながるきっかけづくりを目的とし活動します。住民が多世代で学び・つながり・まちのことを考える機会をつくることで、地域に新たな活力が生まれると考えています。



理事長 坪倉 勝

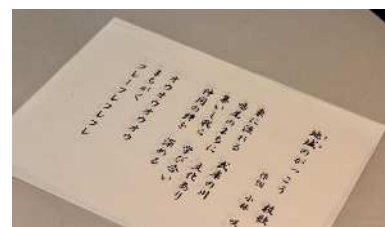
## ●事業概要

<概要>

地域活動の新たな担い手づくりと地域力の活性化に向けて、地域住民が自分たちの暮らすまちに関心を持ち、住民同士がつながるきっかけをつくることを目的に、住民が主体となり、年齢に関係なく地域のことを一緒に学ぶ「地域のがっこう」を開校する。

<内容>

住民や専門家を「先生」とし、まちの歴史や産業・現状や課題を学ぶ「授業」を、「入学」や「進級」という学校の仕組みを取り入れながら実施する。単発的に参加できる講座ではなく、通年・継続的（卒業なし）に学べる仕組みや、多世代でクラスを構成し、多世代で学び合える環境づくりを考えながら、今年度は年4回の授業を実施する（テーマ：自分たちのまちを知ろう）。



## ●事業の成果・工夫した点

- ・入学者43名。いままで地域で繋がりのなかった住民、比較的若い住民の参加があった。
- ・ワークショップやクラス内で一緒に取り組む授業を行うことで、受講者間の交流の時間を増やすことを大事にした。
- ・参加者のモチベーションも高くアンケート調査から次年度につながる意見が多く得られた。

## ●苦労した点・今後の課題

- ・「肩書きを捨てて授業に参加すること」が難しい場合がある。初めて参加する住民が入りやすい環境をつくるためにも、クラス内のコーディネート役が重要だと再確認した。
- ・2年生になったことで得られる「得」と新入生でも遅れを取らない（参加しづらくない）仕組みづくりが課題だと感じている。

## ●代表者の感想

本事業の初年度としては、計画していた以上の成果・効果が見られたと感じています。それは、住民だけで取り組むのではなく、今回「協働事業」として活動できたことが大きく影響していると感じています。目標・目的達成までにはまだまだ至っていませんが、着実に事業のレベルアップを目指します。